カラフル

ちがいは宝物　～響かせよう！蟹江のハーモニー～

蟹江小学校だより
第２５号
令和８年１１月１３日
発行者：佐古達哉

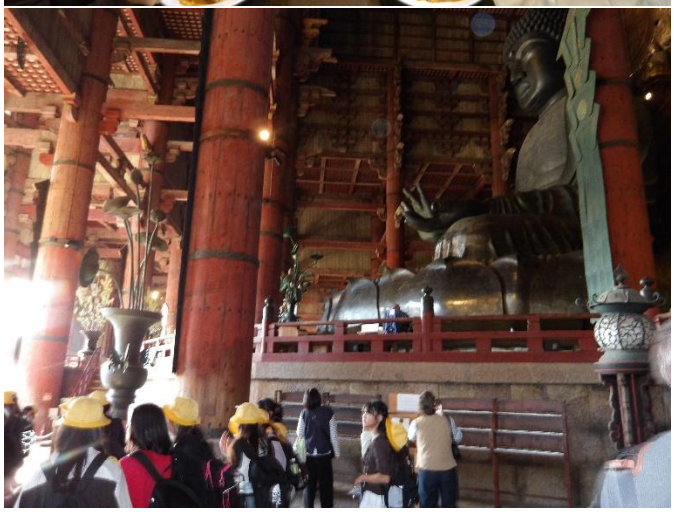
♪ 6年生「修学旅行」

５日（木）・６日（金）には、６年生が心待ちにしていた「修学旅行」に出かけました。特に初日は心配な予報でしたが、６年生の願いが通じたのか、予定した全ての行程をさわやかな秋晴れの下で実施することができました。そして何より、互いを思いやり合い、周りへの気遣いをしながら、天気以上に気持ちのよい２日間を６年生みんなで過ごすことができ、これまで学校を引っ張ろうと頑張ってきてくれた６年生が、「最高の思い出」をつくる２日間になりました。

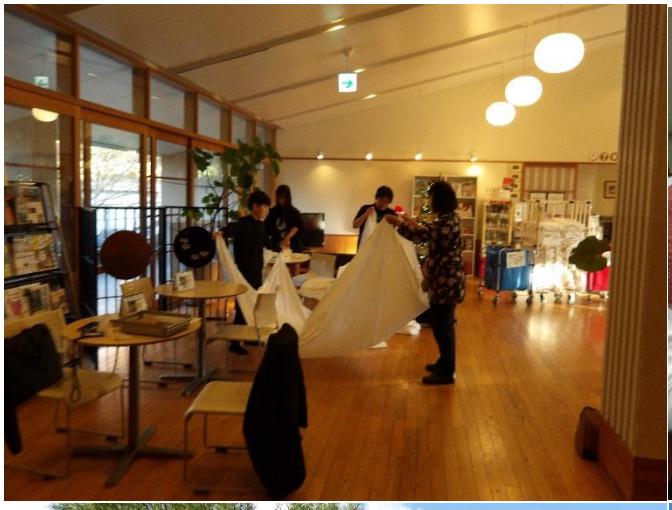
【１日目（奈良方面）】








【2日目(京都方面)】








１１月もそろそろ後半になり、６年生の子たちがつくり上げた「最高の修学旅行」で培った絆や手応えを、いよいよ３月の「卒業」に向けてまとめ上げていく時期になってきます。運動会、修学旅行を大成功させたこの６年生が、「最高の卒業」で小学校生活を締めくくれるよう、全校みんなで応援したいと思います！

なお、６年生の保護者にはお伝えをしていましたが、タブレット端末の入替や学校用スマートフォンの整備など、学校の ICT 環境が充実してきたことを受け、「修学旅行」を実施しているその日のうちに、子どもたちの様子を学校ホームページに掲載することができるようになりました。こういった面も含めて、より安心・安全な教育活動が推進できるよう、今後も学校全体で改善に努めていきたいと思います。登校時や帰りのお迎えも含めて、多くの皆様のご理解ご協力をいただきありがとうございました。

♪「危険な季節」になってきました

１１月も中旬になり、「秋の日は　つるべ落とし」と言われるように、日が暮れる時間がかなり早くなったことで、以前はまだまだ明るかった１７時頃でも、すっかりあたりが暗くなる時期になってきました。

保護者や地域の皆様はご存じのことと思いますが、日没時間帯の前後１時間は「薄暮時間帯」といい、交通事故の発生が１日の中で最も多い時間になります。秋から冬にかけては、この「薄暮時間帯」が早い時間に訪れるため、習い事や遊び帰りの子どもたちが移動する時間と重なることから、特に子どもたちにとって「危険な季節」と言われています。

実際に先日も、地域の方から「横断歩道のない場所を、（薄暮時間帯に）自転車の小学生が横切って危なかった」というお声を聞くことがありました。これまでの子どもたちの様子や地域からいただいたさまざまなお声をもとに、特にこの時期に意識してほしい「交通ルール」を以下に記載しました。ご家庭での安全指導の参考に活用してください。

【特に意識してほしい「交通ルール」】

- **自転車も歩行も、道路を横断する時は「横断歩道」を渡ります。**
  （専用レーン以外は、自転車を降りて渡るのがルールです）
- **自転車は左側、歩行は右側を通ります。**
- **自転車も歩行も「並列」での移動はしません。（特に、通学団での登校時も広がらずに2列で）**

なお、学校では２４日（火）に、全学年児童を対象に「交通安全教室」の実施を計画しています。今回は愛知県警察から「あゆみ」の皆さんにご来校いただき講習会を実施していただきます。保護者や地域の皆さまでご都合がつく方がおみえでしたら、ぜひ一緒に授業を参観していただき、児童への交通安全啓発にお役立てをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

♪「運動会アンケート」ご協力ありがとうございました

「学校だより　第２３号」でご協力をいただいた「運動会アンケート」について、多くの方から回答にご協力をいただきました。いただいた全てのご意見につきましては、教職員で共有をして、今後の教育活動に生かしていきたいと思います（アンケートでいただいた全てのご意見につきましては、こちらからご覧いただけます）。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

なお、回答の中に「運動会が縮小される」「徒競走がなくなる」といったお声をいただきましたが、実際の内容・計画について、現時点で具体的に決まっていることは何もありません。４・５年生児童が考えてくれた**「今よりもっと、（いろいろな思いや違いがあるかにっこ）みんなが楽しめる運動会にしたい！」**という思いを受けて、運動会そのものを大幅に見直すことも可能な態勢を整えるために、これまで「今年が最後の運動会」と子どもたちや保護者・地域の皆さまにお伝えをしてきました。今後、子どもたちの思いや考えを確認した上で、来年度の実施に向けて準備を開始しますが、結果として「特に変わらない運動会」になる可能性もあります。

学校としては、「形」や「内容」を変えることを目的にするのではなく、子どもたちの思いから学校行事をつくり上げる「自治的活動」が実現していくことを大切にしていきたいと考えています。今回の「運動会の見直し」について、教職員の負担軽減や行事の簡素化を目的にした取組ではないことを今一度ご理解いただいた上で、学校・家庭・地域が連携をして、子どもたちの「自治的活動」を応援する思いを共有しながら、本校の教育活動に変わらぬ温かいご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

